メータオ・クリニック支援の会（ＪＡＭ）
会報メール　第 48 号
〔2013 年１月号〕

メータオ・クリニック支援の会（JAM）支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。
JAM 会報メール第 48 号をお送りします。

JAM は 2008 年 3 月に発足された NGO です。ビルマ／ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へ JAM の最新の活動をほぼ毎月中～下旬ごろ会報メールにて発信いたします。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

＜目次＞　　〔ページ〕

賛助会員の皆様へ　会員更新のお願い　〔２〕

メソトマンスリー　〔３〕

国内から

・ 新年のご挨拶　〔８〕

編集後記　〔９〕

次号の予定　〔１０〕

賛助会員の皆様へ　会員更新のお願い

当会では、賛助会員の更新の時期を年末に揃えさせていただいております。
会員更新の対象となる方には、先月、カレンダーと共に「会員更新のお願い」の文書をお送りしましたが、重ねてご連絡させていただきます。
すでにお手続きくださいました皆様には、心より御礼申し上げます。

私たちの活動は皆様の会費とご寄付に支えていただいております。

今後も現地の保健医療サービスの向上により、ひとりでも多くのビルマ/ミャンマーの人々が心身ともに健康に生活することができるよう、尽力してまいります。

引き続き、ＪＡＭの活動をご支援いただきたく、ご賛同いただける方は下記の要領にて会員更新の手続きを宜しくお願いいたします。

更新の対象となる方

平成２３年７月～平成２４年６月までに
ご入会および更新してくださいました皆様。

・会員期間は平成２４年１２月末をもちまして終了となります。
・更新いただける場合は、**平成２５年２月８日**までに手続きをお願いいたします。
・更新後の会員期間は**平成２５年１２月末まで**となります。

※ ご入会および最終更新時が上記より前の方には、今回「更新のご案内」を送付しておりませんが、新たに賛助会員としてご支援いただければ大変有り難く存じます。手続きの方法は同じです。何卒宜しくお願いいたします。

なお、更新を希望されない方につきましては、手続きはご不要です。またご支援いただける機会をお待ちしております。

賛助会員 更新手続き（年会費入金）の方法について

＜年会費＞　一般会員：３，６５０円／年
学生会員：１，８２５円／年
法人会員：３６，５００円／年

◆年会費を下記郵便振込先へお振り込みください。
＜振込先口座＞
銀行：ゆうちょ銀行［金融機関コード：9900］
店名：〇〇八 店（ゼロゼロハチ店）［店番：008］
口座記号：10000
口座番号：普通 2577010
※郵便窓口または ATM よりお振り込みの場合は「普通 25770101」となります。

口座名義：メータオ・クリニックシエンノカイ

◆当会ホームページの画面からクレジットカード決済も可能です。
→「あなたとできること」のページを開き、「賛助会員になる」の下「クレジットカードによるお申し込みはこちら」へお進みください。

※ 当会が入金の確認をもって手続き終了となります。メールにて更新手続きの完了をお知らせいたします。

◆注意事項
・住所、氏名、メールアドレスに変更がある場合、振込名義がご本人でない場合は、下記の事務局までご連絡ください。

◆お問い合わせ先
日本事務局：support@japanmaetao.org

メソトマンスリー

音楽によるビルマとタイの学生交流事業始まりました！

【メソト＝田畑　彩生】

移民という特殊な立場もあってタイ・コミュニティとのパートナーシップは、学校保健やほかの保健事業にとって重要であり、移民コミュニティとタイ・コミュニティとの連携や関係強化は当会としても今後の課題として考えられていました。
昨年、メータオ・クリニックから、移民学校の学生とタイの学生との学生交流プログラムを開催したいとの要望があり、タイ教育省と以前から協力関係がある当会として協力させていただけることとなりました。このプログラムは、今井基金さんからのご支援を得て実現しております。

移民学校では既に音楽（マーチング・バンド）プログラムをメータオ・クリニック学校保

健部門が支援しており、生徒の積極的な参加があることから、音楽の合同演奏会と合同練習を交流プログラムの活動として採用しました。多くの国で音楽は、子どもに対する効果的な非行防止プログラムとして採用されています。例えば、ベネズエラのエル・システマというプログラムはとても有名で、オーケストラ活動により社会に蔓延する暴力や非行から子どもたちを保護し、健全な社会性を育むことを目的としています。このプログラムは現在ベネズエラ以外のイギリスやアメリカ合衆国にも活動を広げています。

今年の１月から、本格的にタイ-ビルマ小中学生交流事業が始まりました。
移民学校１校に対して周辺のタイの５学校の参加が得られ、当会としても地元タイ学校との関係構築という成果があがり、今後、保健の分野での連携強化も視野にいれています。

実際の練習は、プログラムの対象学校である移民・難民の為の学習センターC.D.C校にて、音楽のデザインウー先生と毎週金曜日午後より11歳から20歳までの80人前後の学生さんたちを対象に音楽の譜読みクラスを開催しています。
日本からご寄付を頂いたリコーダー120本を用いて、楽器の演奏についても学んでいます。
「どうしたらきれいな音が出るのかな…。」多くの学生さんが初めて手にする楽器は、リコーダーでした。窓からのぞくお友だちの呼びかけに目もくれずに練習します。80人による大合奏、ムクドリの大群もびっくりの大音響です。

金曜日の楽譜の授業には、C.D.C校のマーチングバンド部、35人の生徒さんたちも参加しています。このマーチングバンド部は、今井基金さんのご支援によるタイ-ビルマ小中学生音楽交流事業の合同演奏会を２月に控えています。

この１月より毎週土曜日、タイの小中学校より音楽の先生、二人にお越し頂いています。交流授業では、タイの生徒さんも練習に参加し、みんな真剣そのものです。幸せそうな表情、輝く笑顔が印象的でした。

「音楽が大好き。授業が楽しいです。」と、学生さんたちは、満面の笑みで答えてくれます。今後もタイの音楽の先生とビルマの音楽の先生による継続的なご指導のもと、水道パイプを用いた横笛とドラム、リコーダー、日本よりご寄付頂いたトランペットを合わせたマーチングバンドの練習を続けていきます。

実は、タイの小中学校にもビルマの移民学校にも、音楽科目で統一されたカリキュラムと言われるものは存在しません。
音楽カリキュラムの作成は、一緒に授業をしているデザインウー先生の目標です。６月からは、デザインウー先生が、楽譜に関する音楽授業を一人で実施する事も目標です。

「音楽に国境はありません。世界中の人々とコミュニケーションが出来るのです。」

そう子どもたちへ説明すると、みんなの目は輝きます。音を楽しむ事、リズムを感じる事、自分の喜びや幸せ、悲しみや苦しみなどの気持ちを音楽で表現する事…それは、国を逃れ国境に暮らす、または親元から離れて暮らす彼ら、彼女たちにとって大切な自己表現のひとつの手段になります。

タイの人々との音楽を通じた交流が続きますよう、音楽を通じて豊かな健やかな毎日が生まれますよう、皆さまどうぞ引き続きこの国境の音楽交流支援事業、応援の程宜しくお願いいたします。

きょうのゆめ

【メソト＝前川　由佳】

今月の「きょうのゆめ」は、メータオ・クリニックのスタッフのゆめ、としてお届けします。

クリニックの財政難、今後の行方、そして自身の将来のこと。様々な困難に直面しながらも、クリニックスタッフは医療者として、故郷の人々への熱い想いに溢れています。今回はそんな彼らの、ゆめのお話です。

今月の主役は、クリニックスタッフのＪ３(ジェイスリー)です。

医療を通じて村の人たちを助けたい、その想いからクリニックで働き始めて６年目。
外科のメディックスを経て、今年から新人医療者を育てるトレーニングチームのリーダーを担当しています。
クリニックでの生活は、医療で人々を助けられていることにやりがいを感じつつも、人員削減、給料削減の時には、正直辞めようとも思ったそう。
減額のお給料では生活が厳しく、自分自身も移民であるため、身分や安全の保証も十分でない中、ずっとここにはいられないかもしれない、そう強く思ったそうです。
どうするか悩んでいる中、昨年後期に６ヶ月間のトレーニングチーム養成研修を受けることとなりました。

そして今、彼のゆめを聞いてみます。

「医療者を育てること、それは僕にとって新たなチャンス、やりがいになったよ。
国内の若者を育てることで、彼らの村の医療が向上するんだから。
自分の持っている知識と技術で、もっと村の医療を良くしたいんだ。
そのためには、自分の能力も向上させ続けないとね。
将来は故郷の村のクリニックを引っ張っていくような存在になりたいんだ。
よきリーダーの下には、よきスタッフが集まり、よい医療を提供できる、そう思うんだ。」

故郷への深い愛を持ち、医療者として冷静に、自分のできることを見つめる彼らの姿から、いつもたくさんの勇気をもらっています。

Mae Tao Clinic での日々から感じること

【メソト＝聖路加国際病院 内科 竹内 直志】

この度、メータオクリニック支援の会のインターンとして 1 ヶ月間 Mae Tao Clinic で研修させていただく運びとなりました。

私は元々漠然と国際保健に関わる仕事をイメージしながら内科医師としての研修をしてきましたが、今回まとまった時間が確保できたため、問題となっている地域での医療の実情を実際に目で見て体で感じたいと考え、無理を言ってお願いさせて頂いた次第です。私はまだ同クリニックで診療に参加させて頂いてから 1 週間しか経っておりませんが、現在感じていることを率直に記述させて頂ければと思います。

皆様がご存知の通り、Mae Tao Clinic はミャンマー国内の少数民族、ならびにタイ国内へ流入してくる移民のために無料で医療を提供しております。素晴らしいコンセプトで運営されている診療所ですが、やはり実際に人の命を救うという観点からは不十分と言わざるを得ません。
それは一重に金銭面と人材面での制限があるからです。
財政的には支援に依存せざるを得ない状況であること、そして人材もクリニック独自の教育で養成したスタッフが診療に当たるため、どうしても限界があります。日本では当然、施行される血液検査・尿検査の類いでさえ、ここでは困難です。この環境では限界があるのは致し方ないことですが、その現実を傍観するのではなく健康を享受できる機会が平等になるよう努めて行動していくことが、私たち恵まれた立場で日常を過ごしている人間の責務なのでしょう。

更に、医療事情のみに目を当てると核心を見逃してしまうと感じています。
このクリニックが存在している理由こそが私たちが考えなければいけないことであり、それはミャンマー国内での少数民族問題から始まり、タイ・ミャンマーの経済格差、タイ国内での移民の権利の問題など、枚挙に暇がありません。患者の表情だけでなく、スタッフとの話からも彼らの生活の実情を痛烈に見せつけられます、彼らも同じ理由でタイに渡ってきた人たちなのです。この背景がある限り、ただの診療所に対するアプローチだけでは真にその当事者たちにとって意味のある支援は困難です。そういう意味に於いて、メータオクリニック支援の会が技術・支援両面でサポートしている学校保健プログラムなど、一診療所の医療という垣根を超えて地域を対象とした活動も行っており、Mae Tao Clinic とは違った切り口での社会貢献もしており素晴らしいと感じています。

まだ一週間程度ではありますが、現在考えていることを書かせて頂きました。
短期間ですから学べることは限られてしまいますが、何が問題なのか、何が求められているのか、何をすべきなのか、五感を使って感じ取って次へ生かしたいと考えております。

最後に、今回この様に深い問題提起をしてくれる環境で学ぶ機会を下さった皆様方にこの場を借りて御礼申し上げたいと思います。

国内から

新年のご挨拶

【東京＝田辺　文】

JAM を応援してくださっているみなさま。
2013 年、新年明けましておめでとうございます。

当会は、今年で設立 6 年目を迎えます。
ボランティアだけで活動している弱小 NGO がここまで続けてこられたのは、みなさまの温かいご理解とご支援のおかげです。心からお礼を申し上げます。

JAM が始まったのは都内のある病院の会議室。
国際保健の専門家である小林潤代表と一代目現地派遣員、梶藍子の呼びかけでした。先進国主導でない移民・難民による医療と社会保障活動、複雑な政治状況、そこでがんばる（当時の？）私たちと同じ若い医療スタッフたち・・・。その活動に共感し、「日本から応援できる窓口を作ろう」と有志が集まりました。

資本金は約 100 万円。小林代表の父のお葬式でいただいたお香典がそのまま最初の活動費となりました。当初は仕事を終えた平日夜の 7 時半くらいからずいぶん遅くまで、会の名前、それぞれの役割、寄付の募り方など話し合いました。
そして何より、どうやったらメータオ・クリニックの必要性を日本に伝え、日本からの支援を有効的に現地に伝えられるか。当初は頂いた貴重な寄付をどのように届けたら公平な支援になるのかと、悩みすぎて決断できない日が続きました。

現在は、メンバーの勤務先や家族事情も変わり、そしてありがたい事に医療関係者以外の仲間も増えました。一月に一度、日曜に東京飯田橋にある市民ボランティアセンターのコモンスペースの片隅で定例会を行っています。クリニックの学校保健チームと行っているプロジェクトも成果を上げ、現地派遣員はクリニックのスタッフはもちろん、現地の他の支援団体にも徐々に認められるようになりました。
しかし、相変わらず、ボランティアスタッフが、人の役に立ちたいという思いと、一緒に活動するメンバーへの思いで、活動を続けています。

「日本で、現地で、私に役に立てることがありますか？」

各所でこの質問を受けます。恥ずかしながら私たち自身が、日々その答えを探して試行錯誤を繰り返し、そろそろ 6 年目を迎える今でも迷うことばかりです。だからいつも、一緒に考えてくれる仲間を必要としています。

役に立てることは自分で探し見つけていくもの。
一緒に迷ってくださる方、JAM の運営メンバー（正会員）に加わりませんか？
ぜひご連絡ください。

そして、いつも JAM の活動を叱咤激励してくださっている賛助会員のみなさま、これからも一生懸命活動を続け、みなさまにご報告できるよう励んでまいります。本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

改めまして、皆様方の新年が幸多きものでありますよう、お祈り申し上げます。

編集後記

先日、忘年会の景品で「おうちで簡単！王様プリン」というものをいただきました。
用意するもの。牛乳１．９リットル・・・わぉ。
上手にできるかどきどきでしたが・・・・ぷりりん！！大成功！！
でも、デコレーションが楽しくなってしまい、調子にのって上に缶詰の黄桃を乗せたら、プリンに亀裂が(゜o゜)

作り方には、牛乳１．９リットルとしか書いていなかったのですが、牛乳と生クリームを配合して１．９リットルにして作ったおかげで味もまるでお店で買ったようにおいしい！！
２０人でおいしく完食いたしました。

数日後・・・

先日の王様プリンの思い出が冷めやらぬうちに今度は、王様ゼリーが作りたくなりました。
いろんなスーパーを探し回ってゼリエースを入手。
王様プリンの入れ物を再活用してイチゴとメロンの二層式で王様ゼリーに挑戦。

ぶるるるるん！！！！！

あ・・・くずれちゃった。
写真は、くずれずに出られたゼリーです。(崩れなかったとはいえ、やっぱり大きい)

もちろん、崩れたものも、崩れなかったものも、ぜーんぶ、みんなで食べきりました。

みんなでわいわい言いながら食べると、おいしさも倍増です。

次回は、王様ババロアに挑戦しようかな・・・

次号の予定

次号の JAM の会報は、２月中～下旬ごろ発行の予定です。
ホームページは、随時更新していきますので　ぜひ、お時間があるときにご覧ください。

Facebook にもぜひ「いいね！」をよろしくお願いします。

◇◆◇

メータオ・クリニック支援の会　　Japan Association for Mae Tao Clinic（JAM）

日本事務局宛て E メール：　support@japanmaetao.org

ホームページアドレス　：　www.japanmaetao.org

フェイスブック　：Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)　で検索して下さい。

※掲載されている全ての内容、文章の無断転載を禁止します。

◇◆◇